

第4回ねご検定試験会場における 感染症対策について

1. 試験実施時の対応

【ウイルス基本対策】

- ・受験者および運営スタッフへのマスク着用義務付け。
- ・清掃、消毒の実施。（机、椅子、ドアノブ、手すり、エレベーターのボタン等）
- ・検定会場、試験教室入口への消毒液設置および受験者の手指消毒励行。
- ・運営スタッフの受験者との接触を伴う業務時（試験問題、マークシートの配布・回収等）手袋着用。
- ・運営スタッフ出勤前の検温実施—および、37.5度以上の発熱があった場合（または平熱比1度超過）の自宅待機指示。
- ・受験者への検定当日朝の各自検温要請—および、37.5度以上の発熱があった場合（または平熱比1度超過）の来場自粛要請。
- ・検定会場入口での検温実施。

【密閉対策】

- ・試験時間を含む、各教室出入口や窓の可能な範囲内での開放による、換気の実施。
- ・各試験実施間に、十分な換気時間の設定。
- ・途中退出の承認。

【密集対策】

- ・試験教室ごとの収容人数を、定員の半数以下を目安に制限。
- ・教室の入場時や退場時等に行列が生じる場合、可能な限りの間隔を空けた整列を励行。
- ・座席は最低1mを目安に可能な限りの間隔を開けて配置。
- ・運営スタッフを、会場の管理・運営に必要最小限度に人数調整。
- ・エレベーターの使用制限、および階段の使用奨励。

【密接対策】

- ・試験時間以外にも可能な限り私語を慎むよう告知。
- ・文書配布による案内・試験説明。

2020年6月8日
ねご検定運営事務局